

市報

とす

今号の内容

CONTENTS

小中学生が描く21世紀の鳥栖市…………… 2



市総合計画審議会が第5次計画案を答申…………… 8

戸籍・人名文字確認にご協力を…………… 12

介護保険課の事務所を移転…………… 〳

男女共同参画懇話会委員を募集…………… 14

「弥生が丘駅」が3月3日開業…………… 〳

統計グラフコンクール入賞者…………… 〳



21世紀の鳥栖市

若葉小4年 真子 葵

今から100年後の9月1日。未来の鳥栖市でも2学期の始まりです。学校も街も今とはすっかり変わっています。階段はすべてエスカレーター。UFOで月まで旅行に行く人もいます。

謹賀新年

2001年

1

平成13年 第917

1日号

21世紀の鳥栖市

昨年の夏休みに「21世紀の鳥栖市・未来図」というテーマで絵画を募集したところ、市内の小中学生から73点の応募がありました。たくさんのご応募ありがとうございました。審査の結果、優秀な作品から小学生の部20点、中学生の部10点を掲載します。

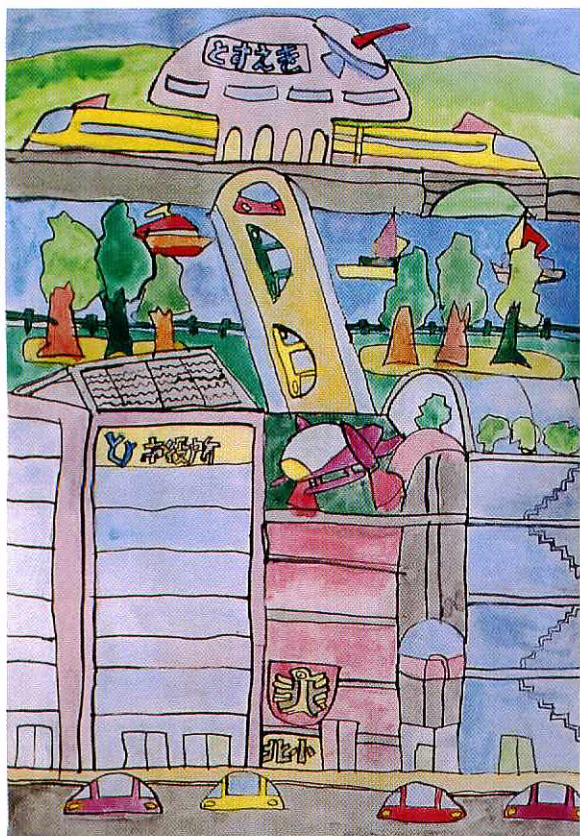


▲若葉小6年 吉田素子

私は今よりも少し自然（緑）がある鳥栖市にしたいです。遠いところや高いところから眺めてもきれいにできて、ゆっくりとした気持ちになれる鳥栖市にできたらいいと思います。

▼若葉小3年 村上ゆう

朝になったらすぐ夜、夜になったら朝のくりかえしです。地下に学校や温泉があります。流星が夜になるといつも見えます。ヘラクレスオオカブトの潜水艦もあります。タイヤがない新幹線や車があります。



▲鳥栖北小4年 緒方健二

未来の学校と市役所、新幹線の駅と都市高速です。



小中学生が描く

小学生の部



▼鳥栖小6年 森田奈々絵

町の中にジェットコースターがある。犬もみれます。なぜか風せんがとんでいる。

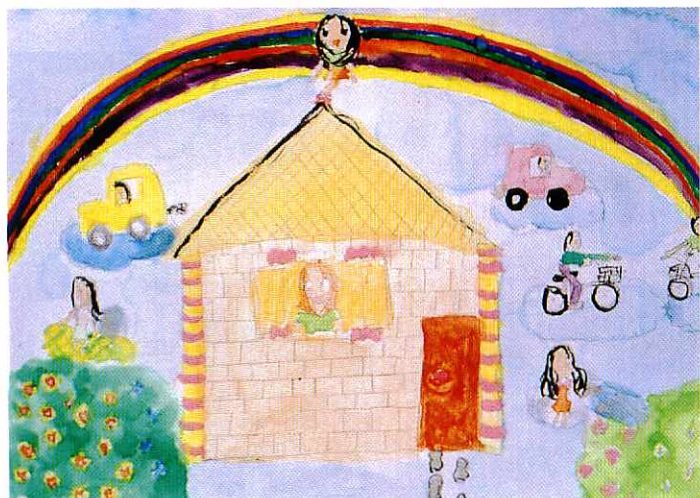
▲鳥栖小1年 永松佑基

21世紀自分の住んでいたい街並みを描きました。発展した街の中に多くの自然が残る街がいいと思います。



▼鳥栖小4年 岩谷光洋

魚つりののできる池があり、虫がたくさんいる大きな木があって、野球をしても怒られないような、自然がいっぱいの広い公園の絵をかきました。



▲鳥栖小3年 温水愛里

わたしがおかしの家にすんでいて、車や自転車に雲がついていて、みんな空がとべるから水をゆったりしています。





▲鳥栖小4年 酒井駿介

ぼくは21世紀はリニアモーターカーや空をとぶ車があっているとしました。鳥栖スタジアムはドームになり、駅などの屋根に光電池がおいてあると思ったのでこれをかきました。



▲鳥栖小4年 仲樹乃子

昆虫も鳥も人間も一緒に仲良く楽しくらせて木や花もいっぱい21世紀の鳥栖市。



▲鳥栖北小4年 野田英太郎

鳥栖市が宇宙に引っ越してきた。宇宙船で鳥栖市ツアーにきています。



▲鳥栖小4年 吉田啓太

21世紀の鳥栖駅の周りを絵にして描いた。



▲鳥栖小5年 権藤亜季

21世紀の未来の鳥栖市を表現しました。宇宙みたいな未来図です。



▲鳥栖小5年 高尾信寛

鳥栖に宇宙人がきて人間と手をつないでいるところ。



▲若葉小6年 岩橋友啓
楽しく遊べるような公園を表現しました。



▲若葉小6年 野中匠
学校や家までジェットコースターで行ける楽しい町になってほしい。



▲若葉小6年 山津絵后子
自然と人が楽しくいっしょに過ごせるような、そんな鳥栖市を想像（表現）しました。



▲若葉小6年 埋金奈都美
自然の家の庭をロボットがきれいにしてくれて、空をとべる車等がある。噴水からは星がでてきている。



▲若葉小6年 宮原佑季
この絵はロボットがごはんの用意や茶碗や皿の後片付けをしているところで、少しでも仕事がへり、みんなも休むことができたらいいなと思って描きました。



▲若葉小6年 平田綾奈
動物といつでもふれあえる公園のある町にしたいです。

中学生の部

▶鳥栖西中1年 坂口聖和
宇宙へ行ける夢のような時代を表現したかったの
で、一生懸命描きました。それに合わせて、町並み
も未来風にしました。



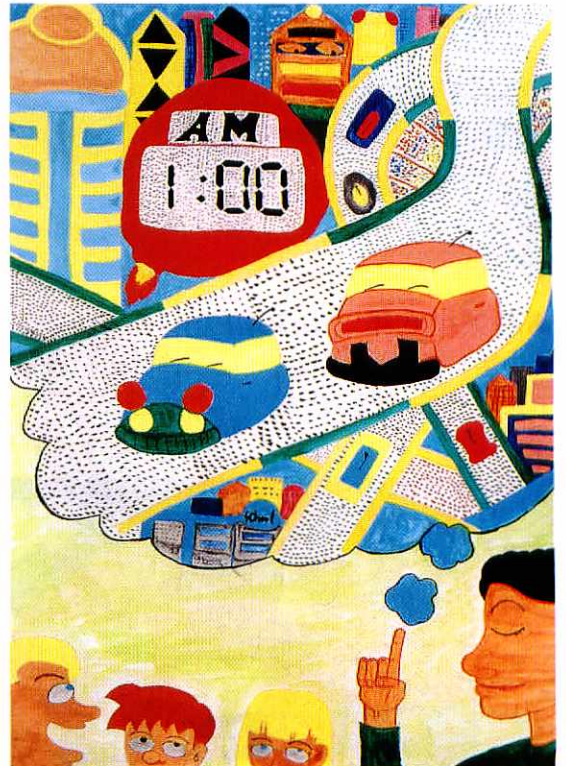
▲鳥栖西中2年 大石香寿美

建物だらけの町の中に、汚い川じゃなくてきれいで
今はほとんどいない蛍がいたらいいなと思い、描きま
した。特に蛍は、私も見たことがないので、未来に残
されたら残してほしいと一番思いました。



▼鳥栖西中2年 藤田巧

鳥栖の道路を中心にできるように整備し
てほしいと思って描きました。目の不自
由な人々のために、大きな時計があると
いいなと思って描きました。



◀田代中1年 納富晃輔

この絵は未来の鳥栖という事で、交通
が非常に発達しているところを描いた。
背景のビルは、なんとなく未来の家（大
型マンション）っぽくして描いた。



▲鳥栖西中2年 河合智也

高速道路とかいろいろなところにソーラーをつけて環境にいいようになるような未来図を描いた。



▲鳥栖西中2年 牟田口祐人

昔の鳥栖と未来の鳥栖を現在の線路でわけました。未来の鳥栖の工業も進んでほしいけど緑を忘れないようにして両立してほしい。



▲鳥栖西中2年 池田学

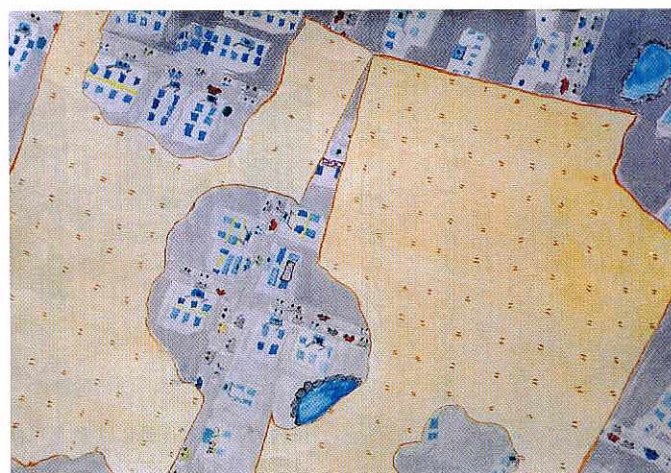
未来の鳥栖市をよくするために病院や新幹線、そして動物が住める公園などを描きました。

▶鳥栖西中2年 寺崎早由里
鳥栖のマークの中にかいた花を大切にしながらも鳥栖の交通を豊かにし、住みよい鳥栖を目指して描きました。



▼鳥栖西中2年 八山彩

今は、まだ田畑や緑も残っている鳥栖市ですが、「未来の鳥栖市」は田畑もなくなり、建物でいっぱいになってしまうのではないかと思います。この絵を描きました。田んぼがこわれてきて、その間から鳥栖市の風景が見えるようにしました。



◀鳥栖西中2年 松本典子
21世紀の地球から鳥栖市を写しました。そして、その写しだした絵には「21世紀になっても鳥栖市は、緑あふれるいい所」というイメージをもって表現しました。



平成13年度から10年間の市政執行の指針となる第5次鳥栖市総合計画案を牟田市長に答申する同審議会の高田弘会長（右）

将来都市像『笑顔ひろがる文化・交流・共生の都市』 鳥栖市総合計画審議会 第5次計画案を答申

鳥栖市総合計画審議会（会長・高田弘西九州大学長、十八人）は十二月四日、平成十三年度から十年間の市政執行の指針となる第五次鳥栖市総合計画案を牟田市長に答申しました。

今回答申された計画案は、目標年次を平成二十二年度までに警戒し、防犯指導を実施します。

同署で行われた発足式で、警察官の制服を着た高祖監督が「サガン鳥栖は全身全霊をかけて努力精進します。みなさんも強盗やひったくりなどの事件を一つでも少なくできるように頑張ってください」と

鳥栖市総合計画審議会（会
長・高田弘西九州大学長、十
八年）は十二月四日、平成十
三年度から十年間の市政執行
の指針となる第五次鳥栖市総
合計画案を牟田市長に答申し
ました。

今回答申された計画案は、
目標年次を平成二十二年度ま

の十年間とする基本構想と
十七年度までの五年間とする
基本計画で構成。

基本構想では、市の将来都
市像を「『笑顔ひろがる文
化・交流・共生の都市』—21
世紀鳥栖ハートオブ九州—
をめざして」とし、十年後
の目標人口を七万五千人、二

万六千七百八十八世帯、六十
五歳以上の高齢人口比率を一
九・七％などと想定していま
す。

基本計画では、広域ごみ処
理施設整備のほか、流通業務
団地や鳥栖駅西地区都市基盤
の整備推進、新幹線新鳥栖駅
周辺整備の検討、行政・地域
情報化、子育て支援事業の推
進、男女共同参画計画の策定
推進など、二十一項
目を重点施策として
掲げています。

審議会は商工業や農業、区
長会、青年・婦人、勤労者
議会の代表、有識者など十八
人で構成。昨年二月から六回
にわたって審議を重ねてきま
した。

市では答申を受けて十二月
定例市議会に計画案を上程
議決後、十三年度以降の具体
的な施策に反映させることに
しています。

鳥栖署で年末警戒隊の発足式

サガン鳥栖 高祖監督が一日署長

鳥栖警察署で十一月一日、
サガン鳥栖の高祖和弘監督を
一日署長に迎え、年末の金融
機関などを狙った強盗事件を
防止する特別警戒隊の発足式
が行われました。

警戒隊は署員六十五人で結
成。年末年始にかけて管内の
金融機関やコンビニエンスス
トアなど約百十店舗を重点的

に警戒し、防犯指導を実施し
ます。

同署で行われた発足式で、
警察官の制服を着た高祖監督
が「サガン鳥栖は全身全霊を
かけて努力精進します。みな
さんも強盗やひったくりなど
の事件を一つでも少なくでき
るように頑張ってください」と

隊員を激励。隊長の川上春生
地域課長は「地域社会の安全
安心を確保するため、特別警
戒活動を徹底して行い、犯罪
の未然防止を図ります」と決
意を述べました。

車やバイクで出勤する隊員
を敬礼で見送った高祖監督
は、パトカーに乗って市内の

銀行や郵便局を訪
問。窓口の行員らに
逃走車両に投げるカ
ラーボールの使い方
を確認し、「年末は
事件が多い時期なの
で気をつけてくださ
い」と注意を呼びか
けました。



市内の銀行で行員に注意を呼びかける高祖監督（右）



まつりの名物のひとつ・約40mのジャンボ巻きずしを作るJA鳥栖基山女性協のメンバーら

「鳥栖基山農業まつり」に4千人 生産者が地元農畜産物をPR

鳥栖基山農業まつりが十二
月三日、JA鳥栖基山営農生
活センター一帯で開かれまし
た。JA鳥栖基山や鳥栖市、
基山町の主催で、地元の農畜
産物をPRし、生産者と消費
者との交流を深めようと毎年
行われているものです。

会場にはたくさんさんのテント
が並び、生産者らが新鮮な野

菜やくだもの、牛肉などを格
安で販売。大勢の買い物客が
じっくりと品定めをしていま
した。

米のつかみどりやもちつ
き、県産米の試食などのコー
ナーには長い行列ができ、約
四十mのジャンボ巻きずし作
りも行われました。同JA鳥

栖支所の女性協のメンバーら
が作った巻きずしは、その場
で一口大に切られ来場者に振
る舞われていました。

また、バルーンの手乗や移
動物園、大道芸、演芸大会
などの催しも行われ、会場は
約四千人の人出でにぎわいま
した。

米国の先生20人が鳥栖市訪問

鳥栖北小などで教育現場を視察

アメリカの小中高校の先生二十人が十一月二十日から二十九日までの十日間、鳥栖市を訪れ、市内の学校見学や懇談会などを通じて日本の教育事情を視察しました。一行は、平成八年に教育活

の歓迎を受け、翌日から早速鳥栖北小や鳥栖中、鳥栖高の三校を訪問しました。鳥栖北小では、体育館で歓迎集会が行われ、児童たちがカタカナで書いた手作りの名札や「もみじ」の合唱をプレゼント。この後、先生たちは思い思いに習字や図工、体育、国語などの授業を見学し、各クラスに分かれて給食を試食しました。休み時間には、子どもたちに囲まれて親しく会話をすることも見られました。小学校教師のアンジェラ・チャンプマンさんやキャスリン・ファンチャーさんは、「子どもたちは、アメリカも日本も変わりありませんね。やさしい心遣いや歌のプレゼントがうれしかった」と感想を述べました。



鳥栖北小学校で図画工作の授業を見学する米国の先生（中央）

シンクロトン光研究施設に大きな期待

鳥栖工高生が施設模型を製作

「シンクロトン光応用研究施設」の模型（手前）と製作した鳥栖工業高校電子機械科の生徒たち

鳥栖北部丘陵新都市に県が建設を計画している「シンクロトン光応用研究施設」の模型を鳥栖工業高校の生徒が製作しました。製作したのは同校電子機械科三年の六人で、佐賀大・伊藤榮彦名誉教授の「シンク

発砲スチレン製の模型は、縦一・三m、横〇・九m。現在計画している実物の約百分の一モデルです。電子を加速するリングを透明のパイプで作し、中を周回する様子を青色の発光ダイオード百個で表現。また、出力するSRを水色のネオン管で表し、速い光の動きが一目で分かるように工夫しています。平成十六年度の開業を目指すSR

施設に、坂井教諭は「施設が完成すれば、企業が鳥栖市に集まり、活気が出て生徒の就職先も増えるのではないかと期待を寄せます。なお、完成した模型は、十一月二十五、二十六日の両日、佐賀市の県総合体育館で開かれた「青少年のための科学の祭典」で展示されました。

安楽寺町の菜の花ロード育成会

「町のシンボルに」と花苗植える

安楽寺町の「菜の花ロード育成会」の会員らが十一月十日、同町の通学路沿いの田んぼに菜の花の苗を植えました。育成会は、同町の緒方隆

二さん（72歳）の発案で十年前に結成。当時、町内に完成した通学用歩道を九千部山頂から見た緒方さんが「菜の花を植えたらきれいだろう」と思い立ちました。

通学路は鳥栖基山農協共同乾燥施設の東側にあり、歩道沿いの田んぼを借りて整地。緒方さんと友人ら六人が菜の花の苗を育て、毎年この時期に植えています。今年も育成会のほかに、高田・安楽寺PTAの役員や地元の小生約四十人が参加しました。子どもたちは、田

んぼや歩道に捨てられた空き缶やビニールなどのごみを収集。お年寄りや父母らに植え方を習って、幅約一・五m、長さ約五百メートルの田んぼに、二十cmほどの苗をいねいに植え付けました。歩道沿いに二列に植えられた菜の花は、四月ごろ満開になります。緒方さんは「こ



通学路沿いの田んぼに菜の花の苗を植える子どもたち

エアロビック全国大会に出場

武内麻美さん(鳥栖商高2年、基山町)

「初めて出場した全国大会では、プレッシャーもなく持てる力を十分に発揮することができました」

エアロビック九州地区大会



女子シングル部門を二位で通過し、十一月二十六日に東京都で開かれた国内最大規模の「第十七回エアロビック全日本選手権大会」に出場しまし

た。華やかに見えるエアロビックは、ジャンプやキックなどの技術や表現力などが試され、高い運動能力が要求されるスポーツです。

始めたのは小学五年生のとき。「仲よし」がエアロビ教室に通うのを見て、興味を持ちました」。本格的に取り組

んだのは中学三年生になってからです。

現在、週に

四日は福岡市

でコーチの指導を受け、残りの日は筋肉トレーニングなどに励んでいます。びっしりの練習スケジュールに、「いま一番ほしいのは、友だちと一緒にいる時間です」。

ビック。「好き嫌いはなく、おなかいっぱい食べています。栄養のバランスにも心がけていますが、甘いものは大好きです」。

強いバネと柔軟性を生かしたジャンプやバランス系の演技が得意で、テレビなどでトップ選手の動きを研究。イメージトレーニングも欠かすことができ

あんひと こんひと

101

「今回の全国大会では十位でしたが、目標は世界チャンピオンです。将来はエアロビック競技の指導者になりたいですね」。身長百五十cm、体重四十一kgの小柄な体からは、若さとパワーがあふれています。

情報管理係は、情報処理分野の調査研究や市役所内の情報化、地域の情報化を担当するほか、国勢調査をはじめ、農業、商業、工業、住宅、家計などに関する各種の統計調査を行っています。

昨年の国勢調査では、みなさんのご協力ありがとうございました。これからも調査へのご協力をお願いします。



⑨3企画情報課情報管理係
徳 渕 文 子

農業

新時代

◀116▶

「食糧の安定供給に欠かせない備蓄米。セミナーで米消費拡大を呼びかける」

備蓄米を使った料理講習会「たくわえくんセミナー」が十一月二十四日、保健センターで開かれ、市食生活改善推進協議会の女性会員約六十人が参加しました。

県米穀協会の主催で、「た

くわえくん」の愛称で呼ばれる備蓄米の制度を理解してもらい、米の消費拡大を図ろうと開いているものです。

セミナーでは、佐賀食糧事務所鳥栖支所の職員が米の備蓄制度や今年四月一日から変



備蓄米を使って料理を作る参加者

わる精米の表示制度を説明したほか、実際に備蓄米三十kgを使って料理実習が行わ

で料理を作り、試食しました。同協議会・田代地区会長の牟田澄子さん(田代外町)は

れました。

この日のメニューは、牛肉ずしや中華風混ぜごはんなどの米料理や総菜九品。

参加者は、栄養士の広尾京子さんの指導

「料理の仕方に少し工夫が必要ですが、できたてはおいしいですね。地区の料理教室でも使ってみたいと思います」と話しました。

消費者にいつでも安心して米が供給できるように、政府は年間百五十万トン前後の米を備蓄しています。品質を保つため、低温倉庫で保管。一定期間保管された後、米穀店やスーパーなどの販売協力店で販売されています。



新年のごあいさつ

市長 牟田 秀敏

明けましておめでとございます。
新しい二十一世紀、この輝かしき新春を皆様にはお揃いでお迎えのことと心から慶賀に存じます。平素、市政各般にわたりご支援を賜り、厚く

お礼申し上げます。
お陰さまで、予算執行や事業推進もおおむね円滑に実施できたものと考えています。市議会ははじめ市民皆様のご理解とご支援に、改めて感謝とお礼を申し上げます。
さて、本市の昨年の特筆すべきこととして、人口の六万人突破や九州新幹線の分岐駅決定、鳥栖スタジアムでのイベント「ミレニアム・ガラ・

クラシカ」コンサートの開催などがあげられます。
現在の少子化の流れの中で本市の人口が順調に増加を続けていることは、将来に大きな活力と夢を与えてくれるものであるし、分岐駅として新幹線新鳥栖駅が建設されることは、ジャンクションや在来線の分岐点(駅)の機能と相まって、陸上交通の要としての地位を不動のものにする

思います。また、コンサートの成功は、スタジアムの多目的利用への弾みをつけるものと期待しています。これらは次世代への大きな力になるものと確信しており、ミレニアムの年のよきプレゼントであると考えています。
二十一世紀は、総合計画審議会より答申いただいた第五次計画(案)が本市の指針となります。将来像の「笑顔ひ

ろがる文化、交流、共生の都市(まち)」をめざし、一歩一歩着実に、そして確実に歩みだしていく決意です。
天の恵みである地の利を生かし、九州の心臓部として、大きな夢と希望を持って羽ばたこうではありませんか。皆様のご協力をお願いします。
皆様にとってすばらしい世紀であるよう祈念し、年頭のごあいさつといたします。

麓小学校PTA教育講演会が十一月十七日、同小体育館で開かれ、交通事故から奇跡の復活をとげた競歩の板倉美紀選手(24歳、石川県)が、児童や父母ら約四百人を前に「夢を、もう一度」と題して講演しました。
板倉さんは講演で、「四日間も意識不明の続く交通事故にあったとき、家族が懸命に看病してくれた。練習を再開

講演会では、事故後の板倉さんを記録しNHKで放送された『私はあきらめない』のビデオも上映されました。石川県生まれの板倉さんは、バルセロナ五輪に出場した四か月後、トラックに巻き込まれ右の手足とろつ骨十数か所を骨折。その一か月後には歩き始め、さらに半年後には競歩の練



「周りの人への感謝を忘れないで」と語る板倉さん

Viva!ビバスポーツ(113)

交通事故から奇跡の復活

競歩の板倉選手が講演

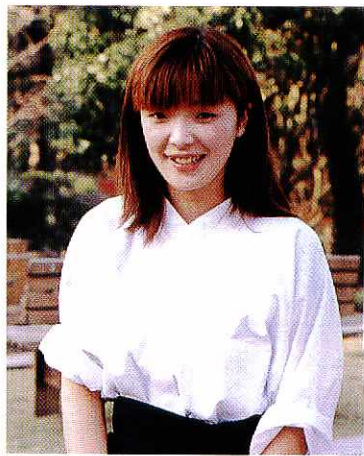
した後も、コーチの力強い励ましがあった。現在の私はみんなのおかげだということ、事故にあつて初めて分かった。みなさんも周りの人への感謝の気持ちをお忘れないうでください」と話しました。

習を再開しています。四年後のアテネ五輪をめざす板倉さんは「いつも前向きに練習してきたわけではなく、何度もくじけそうになつた」と振り返り、「みなさんも目標を立て、それを達成するためには何をやればよいかを考えて、一つ一つ努力してください」と激励しました。

さわやかさん(93)

花やしきは平成元年十一月、袖比町にオープン。従業員九人、パート二十二人でレストランを運営しています。
四千坪の敷地内には美しい庭園があり、演奏家によるピアノや琴などの生演奏を聴きながら食事を楽しめます。
私は平成十一年七月に入社。お客様の接待やブ

ライダルを担当しています。多くのお客様に出会い喜んでいただけることが、とてもうれしいです。お客様には思いやりの気持ちを持ち、笑顔で接するように心がけています。
休日はショッピングを楽しむので、花やしきを九州を代表するようなお店にしていきたいですね。



(株)花屋敷勤務
松尾 佐和子さん
(25歳、久留米市)

戸籍をコンピュータ化

人名文字の確認にご協力ください

市では現在、戸籍のコンピュータ化を進めています。戸籍には、常用漢字や人名用漢字、そのほか国民一般に通用する文字で記載することになっていきます。

しかし、辞書にない文字(氏名)が戸籍に記載されている場合があるため、これを辞書にある文字に置き換えて

コンピュータに登録する予定です。

コンピュータへ登録するに当たり、「氏名字体」を確認していただくための文書を1月上旬に該当者あて郵送します。詳しくは市民課整備係(☎85・3580)へ。

保健

胃・子宮がん検診

1月21日(日)に実施

市では、平日仕事で検診を受けられない人や昨年4月から現在までに都合で受診できなかった人のために、1月21日(日)に胃がん検診と子宮

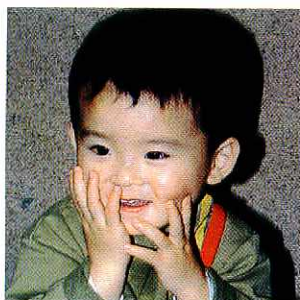
がん検診を保健センターで行います。

受診希望者は同センター(☎85・3650)へ申し込んでください。

■胃がん検診(先着120人) 対象 40歳以上の男女。胃や腸の手術をした人や現在治療中の人はご遠慮ください。 とき 午前9時〜10時半 受診料 900円

■子宮がん検診(先着100

パパ撮っし(185)



鈴木秀生さん 真理さんの長男

ゆきお 生くん
(2歳、真木町)

●パパからひと言 生傷かたえなく 元気に大きくなってね。

人 対象 30歳以上の女性
とき 午前9時半〜10時半
受診料 600円

福祉

介護保険課事務所が移転

鳥栖地区広域市町村圏組合 介護保険課の事務所は12月25日、保健センター2階から左記へ移転しました。

■新事務所

〒841-0037 鳥栖市本町3丁目1494番地1 (☎81・3315)



母子家庭等に修学資金 就学仕度資金を融資

県では、高校や大学などに入学または在学する子どもがいる母子家庭などに、修学資金などを融資しています。融資希望者は、福祉事務所社会係(☎85・3552)で手続きをしてください。なお、申請の受け付け期間は次のとおりです。

■就学仕度資金 1月9日から3月14日まで
■修学資金 1月9日から3月21日まで

低所得世帯に 修学資金を融資

市社会福祉協議会では、低所得の一般世帯で、お子さんが高校や大学などに進学するときの修学資金(修学費・就学支度費)の融資申し込みを1月22日まで受け付けます。詳しくは同協議会(☎85・3555)へ。

教育

育英資金奨学生募集

市教育委員会では、来年度の市育英資金貸付金による奨学生を募集しています。

市内に居住し今春、高校に進学する中学生であれば、県立・私立高校を問わず応募できます。貸付金は月額1万2000円(予定)で無利子。希望者は、2月21日までに

各学校の担任へ申し込んでください。なお、この奨学金は香典返しなど市民の尊い寄付によって運営されています。詳しくは同委員会総務課(☎85・3691)へ。

鳥栖高校定時制 転・編入、聴講生募集

鳥栖高校定時制では、転・編入生と聴講生を募集します。詳しくは同校定時制(☎83・2211)へ。

■転・編入生

試験日 3月26日(月)
試験科目 英語、数学、作文
面接

出願期間 2月1日〜3月5日、3月14日〜同22日

■聴講生(一般社会人)
開講科目 28科目

授業料 聴講手数料2000円
▽授業料1380円(1単位)
▽教材費実費
出願期間 2月1日〜3月5日、4月2日〜同5日

佐賀北高通信制生徒募集

佐賀北高等学校通信制では、生徒を募集します。

応募資格 ①中学校卒業(見込み)者②中卒と同等以上の学力者(小卒者は入学資格認定試験を実施)③高校在籍・中退者

学費 年額約1万5000円(教科書代などは除く)
入学説明会 2月17日(土) 3月2日(金) 午前9時半、11時半、同校通信制
出願方法 2月20日から3月22日までに同校通信制(☎

税務

法定調書の提出は 1月31日(水)までに

平成12年分の確定申告に必要な法定調書の提出期限は、1月31日(水)です。提出漏れがないようお願いします。詳しくは鳥栖税務署または市税務課市民税係(☎85・3588)へ。

税務署が直通電話に

鳥栖税務署では、各課・部門に直接電話をかけられるようになりました。電話番号は次のとおりです。

代表電話・総務課 ☎82・2185(総合案内、申告等受付、広報広聴) 管理徴収部 ☎82・3389(納税相談、納税証明) 個人課税第一部 ☎82・2186(個人事業者の所得税・消費税等) 個人課税第二部 ☎82・2187(相続・贈与税、譲渡所得) 法人課税部門 ☎

82・3563 (法人税、消費税、源泉所得税、印紙税等)

スポーツ

登山参加者募集

■扇ヶ鼻(九重)「冬山・樹水」
とき 1月28日(日) 午前6時半

ところ 市役所玄関前集合
参加料 4000円(バス・資料代を含む)

定員 50人(先着順)
持ってくるもの アイゼン、弁当、雨具、着替えなど

申し込み 参加料を添えて教育委員会社会体育課(☎85・3522)へ

催し

落語を紙切りで見る「紙工落語の会」

落語のお兄さん桂小南治と紙切りの弟(林家二葉)が「おもしろさがし」して見つけた初の落語と紙切り合体作品です。詳しくは市文化事業協会(市民文化会館内 ☎85・3645)へ。

とき 1月27日(土) 午後

1時半、午後6時(2回公演)
ところ 中央公民館

入場料 前売り1500円(全席自由)
チケット取扱所 市民文化会館、デンキとレコードさとう、市役所売店、油屋各店ほか

鳥栖の町づくりと歴史・文化講座

特別講座「中世都市博多について」
とき 1月20日(土) 午後1時半

ところ 市立図書館視聴覚室
講師 大庭康時氏(福岡市教育委員会)

その他 申し込み不要、入場無料
問い合わせ 市教育委員会生涯学習課・内野(☎85・3695)

シルバー交通安全大学

市と市交通対策協議会では、65歳以上の高齢者を対象に「シルバー交通安全大学」を開きます。希望者は当日、会場へおいでください。受講無料。

内容は①交通安全映画の上映②交通安全講話③夜間事故防止反射材実験一ほか。詳しくは生活環境課公害交通係(☎85・3577)へ。

若葉地区
とき 1月23日(火) 午後2時

ところ 若葉コミュニティセンター・わいわいホール
田代地区
とき 1月26日(金) 午後1時

ところ 田代老人福祉センター・教養倶楽室

「存じですか」

庭木のせん定や消毒は1月5日から受け付け

(社)鳥栖市シルバー人材センターでは、庭木のせん定や消毒の申し込みを1月5日(金)から受け付けます。平成12年に申し込んだ人も新たに申し込んでください。また、簡単な大工仕事やふすま・障子の張り替え、食事の準備、掃除、産前産後の手伝い、留守番、介護手伝いなどは、随時受け付けています。申し込みは同センター(☎84・3147)へ。

年末・年始の交通安全県民運動

「広めよう 高めよう 交通マナー」をスローガンに、12月21日から1月10日までの

21日間、年末・年始の交通安全県民運動が行われています。この時期は交通量が増え、飲酒の機会も多くなります。

一人ひとりが交通ルールを守って、交通安全に心がけましょう。

運動の重点 ①高齢者の交通事故防止②チャイルドシートとシートベルトの着用の徹底

③飲酒・暴走運転の追放
押ボタンから点滅信号へ

若葉小前と幡崎入口
若葉小学校前と国道500号幡崎入口の押ボタン式信号機が「常時黄色点滅」になりました。これはドライバーに注意を促し、安全運転に努めていただくためです。

みなさんも交通安全に心がけてください。詳しくは鳥栖警察署(☎83・2131)へ。

1月7日(日) 消防出初式

鳥栖市消防団では1月7日(日)、消防出初式を行います。午前9時にパレード隊がJR鳥栖駅前を出発。市役所まで市中パレードを行った後、市役所前広場では分列行進や五色放水、式典などを行います。市民のみさんの参観をお願いします。

なお、出初式に伴い、市

役所前広場は1月6日(土)から駐車禁止になりますので、ご協力をお願いします。

パレードコース
JR鳥栖駅前→本通筋商店街→佐賀銀行鳥栖支店→本照寺→市役所

暮らしの移動相談室

鳥栖郵便局では、弁護士や社会福祉士が無料で相談を受ける「暮らしの移動相談室」を開きます。なお、相談には予約が必要です。詳しくは同郵便局(☎82・2330)へ。

とき 1月24日(水) 正午～午後4時
ところ 鳥栖郵便局
相談時間 法律 30分(6人) 介護 50分(4人)

県有地を売却

県では、県有地を一般競争入札で売却します。
所在地 古野町字天神木56番2(鳥栖高校長宿舍跡地)
面積 宅地 598.90平方メートル
入札日 2月13日(火)
申込期限 1月31日(水)
その他 現況では、建物の建築はできません
問い合わせ 県庁用度管財課 財産係(☎0952・25・7192)へ。

募集

保育士と看護婦(士)の登録受け付け

福祉事務所では、市内の各保育所で勤務可能な保育士と看護婦(士)の登録を随時行っています。登録には、履歴書と資格証明書(写)が必要です。詳しくは福祉事務所庶務係(☎85・3553)へ。

介護保険臨時職員

鳥栖地区広域市町村圏組合では、臨時職員を募集します。詳しくは同組合介護保険課(☎81・3315)へ。

職種 訪問調査員(要介護認定のための訪問調査)
応募資格 正看護婦(市内居住の普通運転免許所持者)
募集人員 1人
勤務日 毎週月曜日から金曜日まで

休日救急医療センター勤務の正・准看護婦

休日に勤務できる正・准看護婦を若干名募集します。勤務条件や賃金など詳しくは保健センター(☎85・3650)へ。

男女共同参画行動計画 策定懇話会委員を募集

市では、男女共同参画社会の形成を総合的かつ計画的に推進していくとともに、市の実態に即した計画を策定するため、男女共同参画行動計画策定に関する調査・研究や市への提言書作成などを行う懇話会を設置します。設置に伴い、広く市民の意見や要望な

中央省庁が変わります

平成13年1月6日から
政府が1府12省庁体制に

- ◎現行の1府22省庁を大きくくり再編成します。
- ◎内閣府を新設し、いわゆる「縦割り行政」の弊害を排除し、総理大臣の補佐機能を充実させます。
- ◎各府省に副大臣や大臣政務官を設置し、政治主導の政策決定を行いやすくします。

内閣府	国家公安委員会
防衛庁	
総務省	
法務省	
外務省	
財務省	
文部科学省	
厚生労働省	
農林水産省	
経済産業省	
国土交通省	
環境省	

中央省庁改革ホームページ
<http://www.kantei.go.jp/jp/cyuo-syocho/>

■新春経済講演会

1月17日(水)午後2時～3時半、鳥栖商工会議所3階ホール。エコノミストの増田正敏・東京国際大学教授が「今年の景気・経済の見通しと中小企業の活路を探る」のテーマで講演します。受講無料。申し込みは商工会議所(☎83-3121FAX83-8888)へ。

■鳥栖のたからもの絵画展

1月17日(水)から同21日(日)まで、サンメッセ鳥栖。佐賀ユネスコ協会ではユネスコ「わたしの町(鳥栖)のたからもの絵画展」と「アジアの子供達の絵日記展」を開催。子どもが描いた絵画をご覧ください。詳しくは同協会・原康彦(☎83-4049)へ。

■久留米コンピューターカレッジ学生を募集

今年4月入学生を募集中。コースは①ビジネスキャリア②システムデザイン。出願資格は高校卒業(見込み)者。定員いずれも50人。試験日は1月27日(土)。出願方法や授業料など詳しくは同カレッジ(☎32-3311)へ。

■久留米職業訓練センター受講生を募集

パソコン講座受講生を募集しています。コースは①アクセス97入門②Windows95入門③パソコンプレゼンテーション作成講座。開講は2月5日以降。受講料など、詳しくは久留米地区職業訓練協会(☎44-5201)へ。

■スキー教室参加者募集

2月4日(日)、天山スキー場(集合市役所の予定)。定員45人。参加料小学生以下6,000円、中学生以上7,000円(バス、昼食、入場料など含む)。レンタル料個人負担。申し込みは1月26日までに市スキー協会・萩原または中野(市水道課☎85-3537)へ。

どを計画に反映するため、懇話会の委員を募集します。男女共同参画社会の実現は、21世紀の社会を決定する国の最重要課題と位置付けられ、平成11年6月に男女共同参画基本法が施行されました。

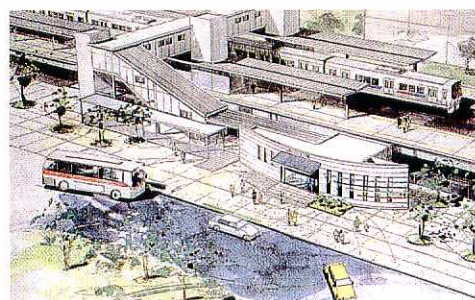
これまでも男女が互いに人

権を尊重しながら責任を分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することが出来る男女共同参画社会の実現に向けて、さまざまな取り組みが進められてきました。しかし、なお一層の努力が必要とされ、現在国と県で新たな男女共同参画基本計画が策定されています。応募資格 20歳以上の市内居住者で、男女共同参画社会の形成に関心のある人。なお、年6回程度の会議及び年1回の視察に参加できる人
募集人員 5人程度
委員の任期 男女共同参画行動計画の策定が終了するまで
業務内容 同行動計画策定に関する調査・研究と提言及び行動計画素案の作成
応募方法 応募の動機(おおむね400字程度、様式は問いません)と、住所、氏名、年齢、電話番号、性別、職業、地域活動の取り組みなどを明

記し、鳥栖市企画情報課(〒841-8511鳥栖市宿町1-1-8番地)へ郵送またはご持参ください
募集期間 1月31日まで(当日消印有効)

「弥生が丘駅」が3月3日開業 北部丘陵新都市の東端に

鳥栖北部丘陵新都市に建設が進められているJR九州の新駅「弥生が丘駅」が3月3日、開業します。



3月3日開業する「弥生が丘駅」完成予想図

新駅は北部丘陵新都市の東端にあり、JR鹿児島本線の田代駅と基山駅の間に位置します。駅舎は鉄骨造平屋建、63平方m。ホーム延長は8両編成の列車に対応できる165mで、こ線橋には車椅子などで利用できるようエレベーター3基を設置。開業時には一日に普通列車上り53本、下り55本が停車する予定です。

総事業費は10億3千万円で、うち鳥栖市が1億2千万円、基山町が5千万円を負担しています。

統計グラフィコンクール 入賞おめでとう

「鳥栖市統計グラフィコンクール」の入賞者が次のとおり決まりました(敬称略)。

【小学1・2年】特選Ⅱ「はじめてのなつやすみ」曾我優貴子(鳥栖北小1年)▽入選Ⅱ「ねんせい がんばってるよ!」中村有沙(若葉小1年)▽「大きなーれ!トマト」岡雅之(同2年)

【小学3・4年生】入選Ⅱ「おじいちゃんおばあちゃん小学校のころ学校から帰って何をしていたの?」能富文香・能富沙弥香(合居・若葉小4年)▽「がんばれ!地元しよう店がい」曾我祐輔(鳥栖北小3年)▽「読書は楽しいよ!」細江大二郎(鳥栖小4年)

【中学生】特選Ⅱ「現代っ子の心:イライラムカムカ中高生」細江佳代子(鳥栖中3年)



サポーターへのメッセージ

サガン鳥栖主催のファン感謝ミレニアムクリスマスパーティーが十二月十日、鳥栖商工センター体育館で開催されました。市民やサポーターなど約二百人が参加。食事をしながらお目当ての選手と会話を交わし、記念撮影をするなど交流を深めました。

高祖和弘監督は「みなさんのご支援で、選手一同せいっぱいやりました。これからも変わらない応援をよろしくお願いします」とあいさつ。選手のみならずからもメッセージをいただきましたので紹介します。

北内耕成選手「監督が変わり、自分の良いところを見いだしてもらい、悪いところも分かりました。この一年で、自分のプレーをアピールできたと思います。いいサポーターに囲まれサガン鳥栖は温かいチームです。まちで会ったら気軽に声をかけてください」。

片瀬浩一選手「出場回数や得点など去年の記録を超えることができ、ほっとしています。みんなに信頼されるストライカーになれるよう、プレーの正確性を高めていきたい。苦しいときは、みなさんの声援が励みになります」。



「変わらない応援をお願いします」とあいさつする高祖監督と選手たち

す。今年以上に応援してください」。

佐藤陽彦選手「来季はAクラス入りが目標です。全試合に出てサガン鳥栖のために戦います。頑張りますので、応援をよろしくお願いします」。

小石龍臣選手「プロのさびしさを感じた一年でした。スピードや当たりの強さがちがうので、もっと体を鍛えることが課題です。得点も決められるところできっちり決められるようにしたい。一つでも多く試合に出ますので、毎試合目見に来てください」。

石谷吾一選手「けがの一年でした。リーグ終盤の数試合に出場できましたが、まだ本調子ではありません。チームの勝利に貢献することが来季の目標です。自分たちがいいプレーができるのは、市民やファンのみなさんのおかげです。一試合でも多く目見に来て、一緒に戦ってください」。

古川隆志選手「試合に出場できてよかった。でも、試合の内容には不満が残ります。来季は必ずゴールを挙げたい。頑張りますので、応援してください」。

中世山城と筑紫氏

Vol.103 勝尾城下町遺跡 その七

「筑紫氏館跡」から出土した遺物で、注目されるものに瓦があります。日本で瓦が使用されたのは七世紀ごろが最初で、古代の役所や寺院の屋根に葺かれていました。その後、瓦葺きの建物は日本で発達することなく、寺院に葺かれるにとどまっていた。

もともと寺院で葺かれていた瓦を、城や屋敷に初めて採用したのは織田信長であり、戦国時代、城郭建築に瓦を伴うことは織田・豊臣系城郭の特色とされてきました。従って、秀吉が九州を統一し肥前名護屋城を築くまで、九州に

田代売薬の業者では、正月になると、日ごろの商売道具である柳行李や配置帳などを床の間に置き、それに餅飾りをほどこしまし



正月飾りの一例（中富記念くすり博物館収蔵品）

は瓦葺き建物の戦国期城郭は存在しないというのが定説でした。ところが、館跡では単に瓦が出土しただけでなく、軒丸瓦や軒平瓦、袖瓦、菊丸瓦などの飾り瓦も出土しており、総瓦葺き建物の存在が明らかになりました。まさに戦国時代城郭建築の定説を覆すもので、建築史上注目される発見となりました。

この発見を契機に、九州では瓦葺き建物の再検討が開始され、現在、北部九州では秋月氏の古処山城、立花氏の立花山城、原田氏の高祖山城などから瓦が出土するこ

た。この行事は、車で行商するようになり、商売道具が柳行李からトランクやアタッシュケースに変わった現在でも、これらの上に鏡餅を飾るといいう形で受け継がれています。

このように売薬行商人の中には、商売道具に神が宿る、あるいは少なくとも商売道具を神聖視するという感覚が受け継がれているようです。以前は正月行事だけでなく、行商に出かける際には、

とが分かりました。筑紫氏の勝尾城をはじめ、いずれも北部九州を代表する有力武將の本城であり、ほかの中小城郭には瓦がないことも判明しました。この瓦も筑紫氏の勢力をうかがわせる資料の一つといえるでしょう。



筑紫氏館跡から出土した瓦

「デタチ（出発）の一杯」といって、必ず一杯のお茶を飲んでから出かけるとか、唇によって得意先への方角が悪いことを知ると、いったん別の方角に歩き、目を改めてそこから得意先の方へ向かうなど、さまざまな縁起担ぎがあったようです。旅の途中での思わぬ病気や事故などを考えると、昔の人々が縁起を担いだのもうなずけます。（文責：中富記念くすり博物館）

消えゆく民具 【売薬用具編】

VOL.131 ● 正月飾り

